

第 29 号

2019年11月1日
(令和元年11月1日)

ソムリエの風

特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会会報紙

発行 特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会
広報グループ
〒630-8217
奈良市橋本町3-1
きらっ都・奈良内NARAEGG気付

奈良テレビ「ゆうドキッ！」に週2回レギュラー生出演！

奈良テレビ放送の情報番組「ゆうドキッ！」(月～金 17:58～)のリニューアルに伴い、同局から「週2回、レギュラーコメンテーターとして出演してほしい」という依頼がありました。コメンテーターとして約60分間生出演するほか、冒頭約20分の企画コーナーで「グルメ」(月)と「イベント」(木)の情報を提供する、というものです。本年9月30日(月)、番組は快調なスタートを切りました。

(専務理事 鉄田 憲男)

のべ約10人がコメンテーターに

上記提案を受け、当会会員から出演者を募集したところ、月曜と木曜、各5人ほどの方に手を挙げていただきました(月曜は鉄田、木曜は友松洋子ともしんさんが取りまとめ)。

大好評！「講談で、めぐるなら」



旭堂南龍さんの講談会 (10/13)

台風一過、さわやかな秋晴れとなった10月13日(日)、当会ガイドグループの企画により、標記のイベントが83人のご参加を得て開催(後援=奈良市)。第1部では当会会員・旭堂南龍さんの新作講談「公慶上人」をお聞きし、第2部では東大寺周辺の公慶ゆかりの地を当会のガイド付きでウォーキングしました。「こんな企画があればまた参加したい」という声をたくさんいただきました。



東大寺境内をガイド(同日)

保山氏作品上映会に当会が協力

7月6日(土)から毎月第1土曜日の午後、奈良県庁東側の「奈良公園バスターミナル」2階レクチャーホールで、「奈良、時の筆しずく」と銘打った映像作家・保山耕一氏の作品上映会場が開かれています。当会は「奈良百寺巡礼」のコーナーに出演・協力しています。



生蓮寺のハス和尚と松森理事 (7/6)

これまで生蓮寺しょうれんじ(五條市)、安倍文珠院(桜井市)、聖林寺(同)、正暦寺(奈良市)、般若寺(同)からご住職などをゲストに招き、『奈良百寺巡礼』(京阪奈新書)でそれぞれの寺院を執筆した会員とともに登壇し、トークを行いました。



当会の担当者5人と番組出演者(9/30スタジオで)

【フォトニュース】

その他の主なできごとを写真と
当会ホームページの「つれづれ日
記」の記事で振り返ります。

フン虫王子を招き講演会 (7/15)



「ふれあい交流会」主催事業としてならまち糞虫館代表・中村圭一さんをお招きし「糞虫の聖地！奈良公園の魅力」を開催しました。※詳細は当会 HP の「つれづれ日記」(7/24 付)をご参照ください。

万葉講座(奈良では 7/27 と 9/28)



県の補助事業として、今年度中に奈良と東京で万葉講座を各5回開催します。※「つれづれ日記」(8/5 および 10/12 付) ご参照。



講師養成講座が最終回 (8/25)



恒例の「講師養成講座」を開催しました。来年度以降は、春の新入会員説明会の場での開催となります。※「つれづれ日記」(9/8 付)。



シリーズ「サンスクリット語」

サンスクリット語について②

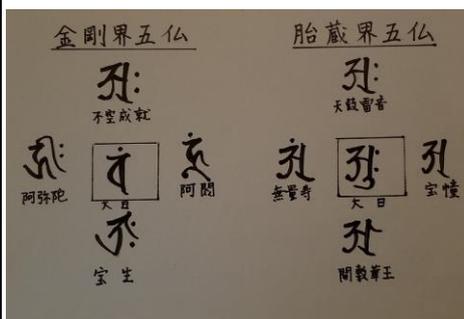
日本人の生活の中には、仏教からきている言葉が多くあります。

その仏教語の源はサンスクリット語です。「奈落」「舍利」「瓦」「娑婆」「刹那」「旦那」「護摩」「閻伽」「曼荼羅」「袈裟」等々、サンスクリット語が音写されて、我々の中に定着しています。

仏教の開祖釈迦はパーリ語（サンスクリット語の方言）の世界で誕生され、初期仏典はパーリ語ですが、大乘仏典はサンスクリット語で書かれています。仏さまの前で唱える真言もサンスクリット語です。

お経も真言も霊験あらたかなもので、意味を詮索しない方がいいと言われがちですが、その意味は深遠なものがあり、知ることは

大事だと思います。また、五輪塔にみられる種子（仏・菩薩などの各尊を梵字一字で示す）、卒塔婆の梵字等がわかると一段と信仰も深まろうかと思えます。



それから、日本語の五十音図の配列もサンスクリット語を参考に作られました。母音の発音時の口内の調音の位置で、配列されています。「アカヤ」は喉音、「サタ」は歯音、「ナラ」は舌音、「ハマワ」は唇音とされて、江戸時代には今日の五十音順となりました。

なお、サンスクリット語の表記文字については、

- ①悉曇文字（仏教）
- ②デーヴァナーガリー（インド文学・哲学・ヨーガ等）
- ③アルファベット

があります。

サンスクリット語の表記文字

①悉曇文字(しつたんもじ)→ siddham(完成された)の音写

देवनागरी

②デーヴァナーガリー

देवनागरी

③アルファベット

devanāgarī

現在も、インド、ネパールでは、サンスクリット語と文法こそ違え、デーヴァナーガリー文字が使われています。

(平越 真澄)

シリーズ「うまいん奈良」



郵便名柄館

淡い桜色のレトロな外観が印象的な郵便名柄館は、明治 35 年、郵便受取所として開設して以来、郵便のほか貯金、保険、電話事業などを行ってきました。山間部を有するエリアの郵便事業の核となり、金剛山中には郵便外務員が通ったルートに郵便道の名が残されています。

明治から昭和にかけて地域に親しまれてきましたが、昭和 50 年、移転に伴い局舎としての役目

を終えました。その後地域の保存運動によって平成 27 年、郵便資料館とテガミカフェを併設した郵便名柄館としてリニューアルされました。



月替わりのテガミランチ

地元の食材にこだわったテガミランチのお米は吐田米を使用。杉の木桶で熟成発酵して作られた天然醤油（片上醤油）や、遠方からもリピーターが訪れる人気のお豆腐（梅本豆腐）など、名柄の美味しいものがぎっしりと詰

まっています。

また、テガミコーヒーを注文すると切手が付いてきます。テーブル引き出しにハガキや筆記用具が収納されているので、手紙を書いて投函する郵便体験もできます。

「郵便は 歓びをつたえる 絆をふかめる 思い出をつくる それは今もここにある」郵便名柄館の復興に尽力した作家堺屋太一氏の詩が庭園に立つ郵便配達夫像に刻まれています。

テガミカフェは新たな交流の場として、名柄でしか味わえない食と文化を大切にしています。

（道崎 美幸）

奈良県御所市名柄 326-1

TEL : 0746-69-0003

営業時間 : 11:30~

定休日 : 毎週火曜・水曜

シリーズ「鉄道スポット」

近鉄小房線跡



畝傍駅ホーム跡

吉野（現在の六田）－橿原神宮前を営業していた吉野鉄道が国鉄畝傍駅との連絡のために大正 13 年（1924）に開通させたが「小房（おうさ）線」です。その後、大軌→関西急行→近鉄と変わるも終戦間近の昭和 20 年（1945）6 月に旅客営業を休止。25 年（1950）の貨物営業の廃止を経て、27 年（1952）に正式に廃線とな

りました。

畝傍駅の高田行ホームの南側には小房線が発着していたと思われる線路のスペースが残ります。東にしばらく行くと、JR の南側に水路跡の橋台跡残り、もう少し進み廃線跡が JR から分かれて南へカーブする場所には、線路跡に沿って斜めに建てたと思われる住宅があり、その前庭にはなんと短いレールと枕木が置かれています。

このあとしばらくは農地や住宅になり痕跡は途切れますが、しばらくすると緩やかにカーブする道が現われ、明らかに廃線跡とわかります。

飛鳥川を渡るところは、現在国道 165 号線となり痕跡は全くあ

りませんが、川を渡るとまた廃線跡が現れ、橿原中央公民館裏の道脇には住宅に挟まれて小房線跡最大の遺構である橋台跡が残っています。



公民館裏橋台跡

国道 169 号線以西には遺構はありませんが近鉄橿原線に沿って橿原神宮前まで線路は続いていました。その橿原線にも別の鉄道遺構がありますが、次の機会にご紹介します。（小林 誠一）

レアスポット



黒石 13号墳墓

広陵町には、歴史人物の名を残すスポットが多くあり、黒石もその一つです。

「家康を探せ！家康は必ず潜んでいる。家康を見つけ出せ！」と後藤又兵衛は躍起になって探していたことでしょう。ここ広陵町字六道山は大阪の陣で家康が当初逃げ回っていた時、後藤又兵衛が六度この地を訪れたことにより付いた字名と云われています（六度山→六道山）。

「火を放て！家康を焼き出せ！」この時火を放たれた森は、辺り一面焼き尽くしたのですが、一部だ

け焼けずに燃え残った所がありました。そこがどうやら、家康が潜んでいた場所だったようです。燃え残った地は、字モエサシ、焼き尽くされた地は黒石という字名が残りました。この黒石は、馬見丘陵古墳群の南に位置し現在は黒石公園として整備されています。

発掘調査の結果、七基の円墳・方墳を発見、現在は家形石棺が出た十三号墳がみささぎ台公園に移築され保存されています。こういう伝説を伴う地に 6 世紀末葉の古墳ありというのもロマンを感じます。

もう一つ紹介しましょう。中将姫伝説です。奈良から當麻寺へと通われた道すがら、その道中の界限には多くの伝説地があります。当然ながら、広陵町を通るわけで、中将姫がお疲れになって、念仏を唱えられた場所として、字仏ヶ谷。橋の上で侍女と共に休まれたところで、中将橋、その川を俗に中将川（今の高田川）と言います。

このようにたくさんのレアスポットがある広陵町、散策してみるのも面白いと思います。

(吉川 和美)



中将橋



奈良まほろぼソムリエの会理事、松森重博氏の歌集「大和まほろぼ」がこのほど上梓されました。奈良まほろぼソムリエの会の皆様も想いをカタチ(本)にしませんか？

奈良の魅力を奈良人が奈良から発信!! 京阪奈新書、あをによし文庫、奈良ガイド、自費出版 **京阪奈情報教育出版** [検索](#)

<編集後記>

令和元年ももうすぐ終わります。来年はいよいよオリンピックイヤー、日本選手の活躍に期待しましょう。また、日本書紀完成 1300 年の記念の年でもあります。もう一度読み返してみましよう。何か発見するかもしれません。(広報 G) 柏尾・梶尾・窪田・小林(誠)・雑賀・沢田・豊田(敏)・永井・中村・廣岡・二上・福岡・藤田・増田・松森・吉川



特定非営利活動法人 奈良まほろぼソムリエの会

事務所所在地：〒630-8217 奈良市橋本町 3-1 きらっ都・奈良内 NARAEGG 気付

ホームページ：<http://stomo.jp/>

メールアドレス：info@stomo.jp

つれづれ日記(ブログ)：<http://nara-stomo.seesaa.net/>



HP の QR コード